

Remi's Piano World 2013

第11回 知野礼美のピアノワールド2013 ～Reflection～



2013.3.28(木)

19時開演 (18時30分開場)

山形テルサホール

共演：多田 真 (Duo356 セCONDピアノ)

シューベルト：即興曲 Op.90-3, Op.142-4

ベートーヴェン：ソナタ 嬰ハ短調 Op.27-2 「月光」

プーランク：エディット・ピアフに捧ぐ 他

プロコフィエフ：シンデレラ組曲 (2台ピアノ)

リスト：交響詩「レ・プレリュード」 (2台ピアノ)

チケット：一般 ¥3,000 学生 ¥2,000

チケット取扱い：大沼デパート・富岡本店・辻楽器店・山形テルサ

問い合わせ：090-6782-0220 (大澤)

主催：K オフィス

後援：山形新聞・山形放送・朝日新聞山形総局・読売新聞山形支局・毎日新聞山形支局・河北新報社・山形テレビ・テレビユー山形・さくらんぼテレビジョン・ケーブルテレビ山形・エフエム山形・VigoFM78.8MHz・東北文教大学・東北文教大学短期大学部・山形県立山形北高等学校・北音会・南風学園あおぞら幼稚園・NPO 法人 M プロジェクト

Remi's Piano World 2013

第11回 知野礼美のピアノワールド2013 ～Reflection～

共演：多田 真 (Duo356 セCONDピアノ)

シューベルト：即興曲 Op.90-3, Op.142-4
ベートーヴェン：ソナタ 嬰ハ短調 Op.27-2 「月光」
プーランク：エディット・ピアフに捧ぐ 他
プロコフィエフ：シンデレラ組曲 (2台ピアノ)
リスト：交響詩「レ・プレリュード」 (2台ピアノ)



プロフィール

山形県立山形北高等学校音楽科卒業。アメリカ・シンシナティ大学音楽学部ピアノ科卒業。同大学大学院ピアノ演奏課程修了。Master of Music 取得。大学2年次より学費全額免除特待生となる。オーナー賞、Cum Laude 賞 Advance Standing 賞、特別オーナー賞受賞。在学中にデビューリサイタルを行なう。全米新進芸術家コンクールなど数々のコンクールに優勝。ピアノを藤澤孚、石川治子、小園井弘子、ジーン・キルスティン、シーモア・リブキン、ユージン・ブリドノフの各氏に師事。室内楽をラ・サール弦楽四重奏団、伴奏法をケニス・グリフィス、作曲をマーク・セイヤー、オルガンをE. ホフマンに師事。ミッドランド・オデッサシンフォニー、シンシナティ・フィルハーモニア、山形交響楽団等と共演。洗足学園大学講師、ドイツ・ハンブルグでの演奏活動などを経て山形に戻る。1997年より「ピアノワールド」を定期的に開催。ソロ以外にもあらゆる室内楽で演奏し、特に「レミトリオ」「Duo356」など長期にわたるユニットで精力的に活動する。1998年より作曲活動を始め、「フォークソング・オブ・ヤマガタ」「音楽劇・幸福の王子」「オペラ・ジャンヌ!」「食育ミュージカル・アードコーダは魔女ナンダ」など数々の作品が上演されている。現在、東北文教大学講師、山形北高等学校音楽科講師を勤める傍ら、あおぞら幼稚園「音楽に親しむ会」企画プロデュースなど幅広く音楽活動を行なっている。第21回山形市芸術文化協会優秀賞受賞。



これまでのピアノワールド

1997年「ピアノワールド」スタート。自作品『ビートルズ・ノスタルジア』発表。
1998年「Pastorale ～バストラレ」『フォークソング・オブ・ヤマガタ』発表。
1999年「Projection ～プロジェクション」オペラティック組曲『ドン・キホーテ物語』発表。
2000年「Christmas Fantasy ～クリスマス・ファンタジー」『クリスマス・ファンタジー』発表。
2001年「Tiny or Huge! ～タイニー・オア・ヒュージ!」『ドヴォルザークの新世界 2001ヴァージョン』発表。
2003年「Sentimiento ～センチメント」『A. ピアソラ/ピアノワールド 2003ヴァージョン』発表。
2005年「Pianistita! ～ピアニスティータ!」山形テルサホールで開催。第21回山形市芸術文化協会優秀賞受賞。
2007年「recuerdo ～おもいで」山形テルサホールで開催。
2009年「encuentro ～出会い」共演：ヤンネ・ネグ野 (Vln)
2011年 第10回記念「espacio Intimo 親密な空間」11/3～20までの間に6回公演。
プログラム後半は各回違った音楽仲間との共演という新しい試みが話題を呼ぶ。
2013年「Reflection ～リフレクション」山形テルサホール。



Duo356 (デュオ・ミソラ)

Duo356 (デュオ・ミソラ)

2003年2台ピアノ演奏活動をスタート。モーツァルトやベートーヴェンなど古典派から、ラヴェルやストラヴィンスキーなどの技巧的な近代作品まで、様式感・構築美を求める息の合った演奏が好評を博している。2011年より正式にユニット名「Duo356」(デュオ・ミソラ)となり、第10回記念ピアノワールド第5夜でベートーヴェンの交響曲第7番全楽章を連弾で演奏。2012年7月 Heart Beat でのコンサート2回公演ではそれぞれ子どもと大人対象のプログラムを演奏し、また同年11月東北文教大学内に於ける教員によるランチタイムコンサート「第3回 音楽の花束」では親しみのあるオーケストラ作品を演奏するなど、あらゆるスケールの音楽をもピアノで表現する可能性を探っている。

多田 真 (Duo356 セCONDピアノ)

日本大学芸術学部音楽学科卒業、皇學館大学神道学専攻科修了。読売新聞社主催第63回読売新人演奏会出演。万人に愛され続けてきた作品から、何人の耳に触れず時を経た作品をも積極的に取り上げ、神道講話や音楽解説を交えたコンサートを開催している。ピアノを藤澤孚・松谷翠、声楽を水野則子、作曲を峰村澄子の各氏に師事。また神職奉務心得を波谷宣寛氏に師事。現在、里之宮湯殿山神社(山形市旅籠町鎮座)禰宜、東北文教大学・東北文教大学短期大学部非常勤講師。